

色で遊ぶ! センスのいい海外実例をたっぷり紹介

ELDECOR

保存版
名作ソファ
BOOK

エル・デコ
4月号 APRIL 2011

ベッドの悩みに、
お答えします!

人気ショップで選ぶ、
春の新生活アイテム

60

色で遊ぶ
インテリア

買う前にCheck!

ソファ&ベッド
大図鑑

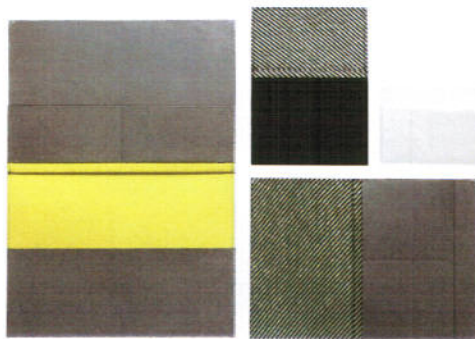


7 Japan Design

日本のセンスとクオリティの高さに、
各国のバイヤーも納得。

経済産業省の支援によるJ Style+, Japan Design+のブース、ジェットロがバックアップする企業、さらに東京デザインセンターによるクラフテックなど、海外に販路開拓を目指す日本勢が大いに注目を集めた。コレットをはじめとする、先端ブティックのバイヤーも多く発注に訪れた。

1 美濃和紙はアーティスト高橋理子氏によるブランド「3120」を発表。2 クラフテックに参加した八幡化成の、150キロまで耐えられるプラスチックのバケツ「オムニウッティ」。3 三宅一成氏プロデュースのJ Style+では、現代的に解釈した伝統工芸が目玉を引いた。4 喜多俊之氏によるLEDと和紙と竹の照明「BONBO」。5 柳原照弘氏のシンプルな皮革のウォレット類、ペーパーシートシリーズ「TYP」。／モルフォ



8 Paris des Chefs

世界からシェフを招き、
フードデザインの未来を探る。

有名シェフとデザイナー、建築家により、料理とデザインの対話を披露。日本からはシェフ成澤由浩氏と、茶道に通じるコラムニスト中村孝則氏が参加。中村氏はお手前を、成澤氏は「土のスープ」などで日本の食文化、自然への感覚を発表。左は「自然を味わうひと皿」。



9 ALKI

バスク地方の
家具メーカーが提案、
キュートでエコなデザイン

ナチュラル、エコな素材を使い、手作業のノウハウを継承しながら製造するバスクの家具メーカー。サミュエル・アコセベリーによる椅子「Meta」は、ウールとコナラ材を使ったスタッキング・チェア。



Special Interview

“家具やファッション、
フードも揃うビッグサロンです”。

Etienne Cochet
エティエンヌ・コシェ

メゾン・エ・オブジェマネージング・ディレクター。コンテナストで出版ビジネスにかかわった後、メゾン・エ・オブジェの運営に。日本のクリエイターでは吉岡徳仁氏に注目している。

インテリア・デザインの展示会は世界に数あるが、メゾン・エ・オブジェは、他展と類似しないユニークなコンセプトを持つ。マネージング・ディレクターのエティエンヌ・コシェ氏に、その特徴をうかがった。

「クリエイティブティ、ライフスタイルについてコンセプトを持つのはメゾン・エ・オブジェだけです。このコンセプトに則って、さまざまな分野が交錯する。トランスバーサルなブランディングを推進してきました。家具、照明だけでなく、ファッション、ガストロノミーまでを取り上げます。オブジェのためのオブジェではなくて、クリエイションの質について語るのです。メゾン・エ・オブジェの面白さはスタイルがミックスされていること。また、質が高く、世界中から企業が集まっています」

今後は、建築、職人による工芸、現代美術へとさらに領域を広げていきたいと意欲を語った。